

議案第 1 号

平成 2 1 年度鳥取県教育委員会表彰について

平成 2 1 年度鳥取県教育委員会表彰について、別紙のとおり提出します。

平成 2 1 年 1 0 月 1 5 日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

# 平成21年度鳥取県教育委員会表彰について

教育総務課

## 1 表彰の目的

鳥取県教育委員会表彰規程により職員、教育等関係団体及び役職員、一般個人で功績顕著なもの並びに児童・生徒で他の模範となるものを表彰する。

## 2 被表彰者概要

(単位：人・団体)

職員個人功労				教育功労団体	一般個人功労	児童・生徒				計
小	中	高	特別支援			小	中	高	特別支援	
2	3	4	3	7	16		2	4	1	42
12						7				

## 3 表彰式

11月12日(木) 於：県立図書館 大研修室

(参考)

### 鳥取県教育委員会表彰規程

昭和24年7月29日 教育委員会規則第12号

第1条 次の各号の一に該当するものは本規程の定めるところによって表彰する。

- (1) 県教育委員会事務部局の職員並びに県立学校教職員及び県費負担教職員で特に著しい功績があり一般の模範と認められるもの
- (2) 教育、学術及び文化関係等の役職員及び団体に功績顕著なもの
- (3) 前各号以外のもので教育、学術及び文化関係等の事業に尽すいし功労顕著なもの
- (4) 学校の生徒及び児童でその篤行著しく学業成績優秀であり特に他の模範と認められるもの

第2条 本規程による表彰の選考は教育長が行う。

第3条 表彰の選考は別に定める様式をもつて教育委員会に提出するものとする。

第4条 教育委員会は前条の選考にもとづき調査の上被表彰者を決定する。

第5条 表彰を受けるべき者が表彰前に死亡したときは生前の日付にさかのぼってこれを表彰することができる。

第6条 本規程によって表彰するときは教育委員会は表彰状を授与する。

第7条 教育委員会に於て必要と認めたときは前条の外に副賞として金品を授与することができる。

児童・生徒（表彰規程第一条第四号該当者）



学校名	鳥取県立 倉吉西 高等学校	鳥取県立 倉吉総合産業 高等学校	鳥取県立 境高等学校	鳥取県立 倉吉養護学校
	普通 普通 学科 科	情報 マ メ ディ ア 技術 学科 科	普通 普通 学科 科	高等 普通 部 科
学年	三	三	三	三
氏名	松本 ま つ も と  泰知 た い ち	松原 ま つ ば ら  卓也 た く や	橋本 は し も と  雄太 ゆう た	手嶋 て しま  健太 けん た
篤行概要	明朗活発な性格で、生徒会・部活動・クラス内等、あらゆる場面でリーダーシップを発揮し、三年次においては前期生徒会副会長として、学園祭や球技大会の企画立案にあたり中心的役割を果たした。また、部活動ではソフトテニス部副キャプテンとしてチームを牽引するとともに、校外では地域清掃等のボランティア活動に積極的に参加した。さらに、学業においては「生物チャレンジ」に出席するなど、他の生徒の模範である。	素直で明るく活発な性格から、クラスメイトのみならず教員からの信頼も厚く、学業においても積極的に取り組んでおり、常に優秀な成績を収めている。また、一年次より検定や資格取得に向けて努力し、初級システムアドミニストレーター試験や取得困難な基本情報技術者試験に合格するなど、成果を挙げている。さらに、演劇部部長として、リーダーシップを発揮し、全ての活動に全力を尽くす姿勢は部長としての信頼も厚く、学校外においても積極的にボランティア活動や演劇活動に取り組みなど、他の生徒の模範である。	真面目な性格で誰からも信頼されており、勉強と部活動に積極的に取り組んでいる。学業においては優秀な成績を収めるとともに、部活動では陸上部に所属し、二年次からは主将としてチームをまとめた。自身は四×一〇〇Mリーグにおいて県大会や中国高等学校陸上競技大会で優秀な成績を収め、全国高等学校総合体育大会への出場を果たすなど、その実力は高く評価される。その学業と部活動に真摯に取り組む姿勢は他の生徒の模範である。	明るく積極的な性格で、生徒会長、校内委員会役員を歴任しており、特に全校をあげて取り組んだ「あいさつ運動」では、優れたリーダーシップを発揮し、着実な成果を挙げた。学習面では、就労を目標とした作業学習等の企業等における実習で高い評価を得、優秀な成績を収めている。また、家族の中心となつて家事を行い、休日にはアルバイトに取り組み、困難な状況の中で家計を支えるなど、他の生徒の模範である。

一般個人功勞者（表彰規程第一條第三號該當者）



職名	鳥取県学校薬剤師会 副会長	鳥取県体操協会 強化部長（新体操女子）	倉吉文化団体協議会 常任理事	鳥取県バスケットボール 協会副会長	医療法人財団共済会 清水病院理事長
氏名	安木 誠規 やすぎ まさのり	山中 幸 やまなか みゆき	尾崎 正平 おざき しょうへい	穴戸 正郎 ししど まさお	清水 正人 しみず まさと
住所	鳥取市	鳥取市	倉吉市	倉吉市	倉吉市
功績概要	昭和五十三年から今日に至る約三十年の永きにわたり、学校保健委員等積極的に参加し、指導を行うなど、児童・生徒の健康管理に積極的に取り組んでいる。指導員として、児童・生徒の健康増進に努め、率先して薬物乱用防止の啓発活動を行うなど、地域保健活動にも多大な貢献をしている。	人口の拡大と選抜強化に尽力した功績は多大である。自身も高校・大学時代に各種大会、世界選手権等の出場経験を持ち、現役引退後は、指導者として新体操、普及強化に尽力し、全国で活躍できる選手を多数育成してきている。また、ジュニア期の選手育成のため、ジュニアアクトクラブの設立や鳥取県体操協会新体操女子強化部長を務めるなど、本県新体操競技の発展に多大な貢献をした。	昭和五十六年の倉吉文化団体協議会設立当初から、「打吹音楽倶楽部」の活動としてコンサートへの参加等の活動を行ってきた。その間、倉吉文化団体協議会の二大事業の一つである「アザレアのまち音楽祭」の創設に参加し、音楽祭企画実行委員会企画運営部長等を歴任して音楽祭の発展に寄与するとともに、後進の指導・育成にも尽力するなどその功績は多大である。	バスケットボール競技において、その卓越した指導力で倉吉北高等学校を全国大会へ数多く導き、本県高等学校バスケットボール競技を牽引するとともに、鳥取県国民体育大会少年女子バスケットボール監督として、十二回の大会出場に導いた。また、鳥取県高等学校バスケットボール協会副会長として高等専門学校を歴任し、現在は県バスケットボール協会の組織強化に尽力するなど、本県バスケットボール競技の発展に大きく寄与している。	倉吉養護学校において、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門的知識、技量を取り入れた教職員の専門性の向上を図るため、平成十九年より、病院リハビリテーション部の専門家を派遣に継続して取り組んでいる。肢体不自由や知的障害がある児童・生徒の身体運動面や作業面の指導のほか、言語指導、摂食指導等の充実した指導により、教職員の専門性の大幅な向上に寄与するなど、その功績は多大である。



職名	鳥取県文化財保護審議会 委員	元鳥取県立倉吉養護学校 PTA会長	元琴浦町赤碕文化協会 会長	鳥取県体操協会 理事（総務担当）	米子市文化協議会副会長
氏名	名越 勉	吉田 礼子	光月 源一	二岡 眞美子	宮倉 義文
住所	倉吉市	倉吉市	東伯郡 琴浦町	米子市	米子市
功績概要	平成十年から今日に至るまで、鳥取県文化財保護審議会委員として史跡・埋蔵文化財部に所属し、県内史跡・埋蔵文化財の調査及び指定に取り組み、倉吉市文化財保護審議会委員、倉吉市文化財協会の会長等を経て、倉吉市文化財保護に果たした功績は顕著である。	永年にわたりPTA活動に携わり、鳥取県知的障害教育校PTA連合会会長、理事を歴任し、PTA会員の研修や要望のとりまとめなどに取り組まれ、平成二十一年五月の鳥取県独自の組織である鳥取県特別支援学校PTA連合会の発足に多大な貢献をした。	平成十年から平成十七年まで琴浦町赤碕文化協会会長として活躍し、琴浦町主催の文化祭を中心に展示発表会を毎年開催するとともに、各所属団体の活動内容を中心とした冊子「あゆみ」を隔年で発行するなど、郷土文化の発展に寄与した。	永年にわたり、本県体操競技における競技力の向上とジュニア選手育成に尽力し、昭和五十年に米子ジュニア体操クラブを設立し、ジュニア模範である。現在は指導者の育成等に尽力しており、平成二十年度からは鳥取県体操協会副会長として本県スポーツの振興にも貢献するなど、その功績は多大である。	永年にわたり舞台芸術の振興に尽力し、昭和四十五年「演劇集団あかり」を結成し、先進劇団との交流により演技力の向上を図るなど、良質な演劇を提供することにより、地域の文化活動の発展に寄与した。演劇活動として、公開演劇講座の開催や鳥取県演劇連盟定期公演への出演、年二回の定期公演などを行っている。



教育功勞團體等（表彰規程第一條第二號該當團體）

団体名	鹿の助スポーツクラブ	古市成年会	瑞穂ふれあい農園の会	やまこう建設株式会社	打吹スポーツクラブ
代表者氏名	会長 岡田 浩四郎	会長 長谷 英夫	代表世話役 村上 俊治	代表取締役社長 田中 義昌	代表 杉谷 哲治
所在地	鳥取市	鳥取市	鳥取市	鳥取市	倉吉市
功績概要	鳥取市鹿野町鹿野地区を中心とした総合型地域スポーツクラブとして、生涯スポーツの振興発展による地域の連携と、明るく豊かな生活の実現を目的として活動している。特に、スポーツ教室や「ママチャリ耐久レース」等特色あるイベントを開催するなど地域を巻き込んだ活動をしており、さらに、韓国のスポーツクラブとの交流など幅広い視野で国際交流にも力を入れており、他のクラブの模範である。	鳥取市佐治町古市地区で毎年四月十五日に近い日曜日に行われる口佐治神社の例祭に奉納される獅子舞は、伊勢大神楽を源流とする神楽獅子舞で、平成九年に県無形民俗文化財に指定されている。当団体は、佐治地域という山村にあつて少子高齢化の波にさらされながらも、当該無形民俗文化財の保存・伝承に努め、地域文化の振興に多大な貢献をしている。	平成五年度に鳥取市立瑞穂小学校の学校田が「ふれあい農園・米ホーム」と名付けられたのを契機に、地域を誇りに思う子ども育成や地域の活性化を願う地域住民・保護者・学校教職員により「ふれあい農園の会」が発足された。以来、現在に至るまでの永きにわたり、ふれあい農園を中心とした体験活動に取り組み、子ども達にも力にのびたり、ふれあい農園を自然や人に感謝する心の育成に尽力し、その活動は食育指導、学校環境整備、地域安全活動等地域活性化に多大な貢献をしている。	県教育委員会が創設した家庭教育推進協力企業として、平成十九年十月に協定を結び、様々な活動の中に常に家庭教育という視点を取り入れた幅広い事業を展開している。主な取り組みとして、社員の有給休暇取得促進、学校との交流学習、家族ふれあい活動などを行っており、職場内に家庭教育を充実させる環境づくりを率先して実践しており、他の模範である。	スポーツ少年団を核とした総合型地域スポーツクラブとして、倉吉市教育委員会、各競技団体等と連携しながら、地域住民による自主的・自発的なスポーツクラブの組織化及び定着を推進し、生涯スポーツ社会の実現を目的として活動している。特に、地域住民のスポーツ活動、ジュニアスポーツ支援、スポーツ大会開催、食育事業、ボランティア活動等幅広い事業を行うとともに、クラブとしての組織作りや質の高い運営を目指し積極的に取り組んでおり、他のクラブの模範である。

団体名	おしゃべりたんぽぽ	境港市文化協会
代表者氏名	代表者 浜田 照美	会長 面谷 規夫
所在地	境港市	境港市
功績概要	<p>平成八年の発足以来、子ども達の健全な成長のため読書活動の推進を目的として小学校低学年以下の児童を対象に読み聞かせ活動を行っており、現在活動の対象を、妊婦・身体障害者・難病による自宅療養者・高齢者等にも拡大している。</p> <p>特に、定例のおはなし会、おはなしの出前活動等のほか、境港市が行うブックスタート・ブック会、おはなしの事前活動等、両親学級事業にも積極的に協力しており、その功績は多大である。</p>	<p>約四十年の永きにわたり、絵画、短歌、吟詠、合唱等の文化活動を行う団体の連絡・提携・親睦を図り、活動の助成を行うとともに文化振興に努めることを目的として活動している。</p> <p>現在三十六団体が加盟しており、相互連携による活発な活動を実現させており、また、本協会の支援により、相互連携による活発な活動を実現させ、また、他の団体の模範である。</p> <p>発展させるなど、他の団体の模範である。</p>

職員個人功勞者（表彰規程第一條第一號該當者）



所属箇所	倉吉市立 西中学校	米子市立 湊山中学校
職名	教諭	養護教諭
氏名	北野 昭雄 <small>きたの あきお</small>	杉山 祥子 <small>すぎやま さちこ</small>
功績概要	昭和五十九年四月に赤碕町立赤碕中学校に着任以来永きにわたり、温厚な人柄と公平な態度で生徒指導に当たり、多くの生徒、保護者から慕われており、国語科教諭として日常的に指導法の研究に励み、生徒が理解しやすい授業づくりを実践し、国語科教育を牽引してきた。また、授業者として、今年度は県中学校総合体育大会優勝に導いた。顧問を永く務めており、今年度は県中学校総合体育大会優勝に導いた。管理職を補佐しながら学校目標の達成に向け組織運営の面で提言を行うなど、他の教職員の模範である。	昭和五十一年四月に日南町立大宮小学校に養護教諭として着任以来、実践力から生徒・保護者・教職員から厚い信頼を得ている。特に、性教育・エイズ教育の推進を目指し、数多くの専門家を県内外から招くなどして生徒・保護者・教職員を対象とした研修の充実を図るとともに、鳥取県性教育指導の手引き作成委員も務めるなど、本県健康教育の推進に多大な貢献をした。



県立学校教職員

所属箇所	鳥取県立 米子東高等学校	鳥取県立 日野高等学校	鳥取県立 米子東高等学校	鳥取県立 鳥取盲学校
職名	校長	教頭	事務長	教諭
氏名	小田原 利典 <small>おだはら としのり</small>	頭本 元文 <small>かしらもと もとふみ</small>	永世 彰孝 <small>ながせ あきたか</small>	大場 敏則 <small>おおば としのり</small>
功績概要	昭和五十二年四月、米子南高等学校に着任以来、優れた判断力と熱意を持って、鳥取県内の武道の普及と競技力向上の拠点施設として設置された鳥取県立武道館の立ち上げに際して、次長兼総務係長として尽力した。また、境高等学校及び米子東高等学校事務長として、学校の独自性が発揮できるような学校裁量予算の編成、効率的な執行や施設の充実に努めた。また、平成二十年四月から、西部地区立学校事務長会長として、多くの教育課題克服のため尽力し、学校教育の充実に努めた功績は多である。	昭和五十二年四月、根雨高等学校に着任以来、教育に対する真摯な姿勢と優れた指導力を発揮し、卓越した見識と優れたリーダーシップを遺憾なく発揮し、部活動等の教育活動の発展、後進の育成に尽力した。また、根雨高等学校との交流活動として、地域の校長をよく補佐し、恵まれた自然環境を活用した地域との交流活動を推進する学校として、地元老人保健施設や保育園・小学生との交流活動を推進するなど、総合学科として魅力ある学校づくりに取り組んだ。	昭和五十二年四月、米子南高等学校に着任以来、優れた判断力と熱意を持って、鳥取県内の武道の普及と競技力向上の拠点施設として設置された鳥取県立武道館の立ち上げに際して、次長兼総務係長として尽力した。また、境高等学校及び米子東高等学校事務長として、学校の独自性が発揮できるような学校裁量予算の編成、効率的な執行や施設の充実に努めた。また、平成二十年四月から、西部地区立学校事務長会長として、多くの教育課題克服のため尽力し、学校教育の充実に努めた功績は多である。	昭和五十九年四月に鳥取盲学校療科教員着任以来永きにわたり、誠実に温厚な人柄で、生徒・保護者・他の教職員から厚い信頼を得ている。特に、進路指導主事として、卒業生の新しい進路の開拓に尽力し、産業現場等における実習を実施するとともに、平成二十一年度からは工キスパート教員として他の教職員の模範となるなど、その功績は多大である。

所属箇所	鳥取県立 鳥取聾学校	鳥取県立 鳥取湖陵高等学校	鳥取県立 皆生養護学校
職名	教諭	養護教諭	養護教諭
氏名	河原 <small>かわはら</small> 貴美子 <small>きみこ</small>	山根 <small>やまね</small> 優子 <small>ゆうこ</small>	勝田 <small>かつた</small> 睦子 <small>むつこ</small>
功績概要	昭和三十五年四月に鳥取聾学校に着任以来三十四年の永きにわたり、聴覚障害幼児の教育に専念し、聾・難聴幼児の教育及び県全域の教育相談活動を進めるなど聾教育の発展に尽力した。 指導委員として、その経験と知識を活かした活躍をするなど、その功績は多大である。	昭和四十八年四月に日南町立大宮小学校に養護教諭として着任以来永きにわたり、学校の健全な充実に努め、近年は、東部地区高等学校養護・保健の中心的存在として尽力しており、その確かな判断と対応から生徒・保護者の信頼を得ている。 特に性教育において、学校の独自の実態調査に早くから取り組み、その結果を元に指導の充実を図るとともに、実践発表を積極的に進め、その功績は多大である。	昭和五十年四月に溝口町立溝口小学校に着任以来三十五年余りの永きにわたり、幼児・児童・生徒一人ひとりの生活の実現に向けて尽力している。 特に、特別支援学校における健康教育のあり方や推進について日々研鑽に努めるとともに、関係機関との連携を円滑に進めること、デイネー